

山口大学大学院教育学研究科教授(特命)

山口大学教育学部附属光義務教育学校 初代校長 岡田 淳子

学校教育目標

よりよい未来を共に創る人間の育成

子どもたちがめざす姿

本質を見極めようとする人
(ねばり強く考える人)

多様性を尊重し協働できる人
(自他を大切にできる人)

社会との絆を深める人
(地域に愛される人)

令和8年度 生徒会基本方針:「つむぐ」
つ…常に「自分」という糸に自信をもとう
む…結ぼう、1年から9年の色とりどりの絆を
ぐ…グッジョブ! が溢れる挑戦の年にしていこう

最終的な目標
「よりよい未来を共に
自分達で創る学校になること」

附属光義務教育学校の使命

人材育成

未来貢献

○ 令和8年度 校長としての「夢と志」

○平成16年度からの小中連携教育、平成30年度からの小中一貫校(光学園)の取組と成果を基盤とし、令和7年度からの義務教育学校長2年目としての覚悟と使命感をもち、「附属光」の伝統と文化を力強く継承・発展させる。

○山口県内初の義務教育学校として、児童・生徒・教職員・保護者・地域・大学学部が連携協働し、義務教育の可能性を探究し、この学校に関わる皆が成長できる学校づくりをめざす。

○小中一貫校学校経営のモデルとして一人の校長、二人の教頭、一つの教職員集団、児童・生徒で学校運営を担う一体感のある組織運営体制を確立する。

○ 「夢」と「志」実現のための4つの重点目標 13の重点取組事項

1 「義務教育学校」システムの取組推進・発信力の強化

- (1) 1つの学校、1つの教職員組織へのさらなる「一体感と組織文化」の醸成
- (2) 児童・生徒が繋がる取組をとおして、「子供たちが義務教育学校の良さを語る」発信力の強化
- (3) 新学習指導要領を見越し、学校が地域社会・未来と繋がるための「新しい教科」開発への着手

2 未来のリーダーを育てるための仕組みづくり

- (4) 児童・生徒の「当事者意識と主体性」が発揮されるための授業研究, 大学機関との連携
 - ・「教科でつながる」異学年合同授業の実施
 - ・前後期乗り入れ授業の円滑な実施
 - ・大人と子どもが共に学ぶ「教職大学院エクステンション・ゼミ」の実施、「山口大学公開講座」の試行
- (5) 児童・生徒の「当事者意識と主体性」を伸ばす児童・生徒会活動の連携活性化
 - ・前後期合同実施事業の企画・立案
 - ・前期生の生徒総会や選挙参画を通じた主権者教育の実施
- (6) 「心と身体のバランス」がとれた児童・生徒の育成
 - ・保護者、地域、関係機関等を巻き込み栄養教諭を中心とした食育の充実
 - ・両養護教諭を中心とした基本的な生活習慣定着の啓発と確立「朝食摂取率100%をめざす」

3 丁寧で温かく粘り強い生徒理解・生徒指導・家庭教育支援の充実

- (7) 一人ひとりの困り感に寄り添う親身な教育相談, 組織的な生徒指導体制、専門家への橋渡し
附属光義務教育学校「いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止・早期発見・早期解決
- (8) 特別支援教育に関する理解啓発と大学等関係機関と連携した支援の充実
- (9) SC、SSW、福祉部局、警察等関係機関と連携した支援体制の確立
- (10) 子育てに困り感のある保護者に寄り添い支援する教職員のチーム対応力と面談力の向上

4 働き方改革の推進

- (11) 人材育成のための組織を活用した学校運営の活性化と人事協定に基づく勤務時間の適正な管理
 - ・前後期を通じた学校運営マネジメントチームとプロジェクト型校務分掌の組織力強化
 - ・教職員の主体性に基づくタイムマネジメントと時間外勤務デザインの促進
- (12) 部活動改革の実施（総下校時間年間固定17：00 令和8年度で部活動終了）
 - ・教科、特別活動、総合的な学習を源とする活動の開発（「有志合唱団」「あさりの養殖」等）
- (13) 勤務時間の適正な管理、年休がとりやすく、風通し良く温かく柔らかな雰囲気職場環境の醸成